

第6学年 学級活動（1）指導案

対象 第6学年2組

指導者 前川 佳菜子

1 議題 「お世話になった学校に感謝の気持ちを伝えよう」

2 活動及び指導と評価計画

活動	日時 【活動形態】	・児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿と評価方法
事前	1/10（水） （中休み） 【計画委員会①】	・提案カードから議題を選ぶ。 ・本時の活動計画を作成し、学級会ノートを準備する。	・学級全員で話し合うべき問題かどうかを考えて選定する。 ・学級全員が理解できる提案理由になるように、提案者に助言する。	◎よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。 【提案カード・観察】 ◎話し合うことの意義を理解している。 【委員会活動計画・観察】
	1/12（金） （朝学習） 【学級全員①】	・今回の議題と提案理由をクラス全体に伝える。	・提案理由に沿って考えることを伝える。	
	1/15（月） （朝学習） 【学級全員②】	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていること（条件）が共通理解できるように、必要に応じて助言する。	◎提案理由に合った意見を考え、学級会個人ノートに書くことができる。 【学級会ノート】
	1/15（月） （昼休み） 【計画委員会④】	・学級全員の学級会ノートに目を通して、意見を整理する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるよう助言する。 ・必要に応じて意見を短冊に記入する。	◎提案理由に沿って意見を整理し、計画することができる。【学級会ノート】
	1/19（金） （4時間目） 【学級全員③】	・話し合い① 「どんなことに取り組むか」	・提案理由に沿って話し合いができるようにする。	◎話し合いに進んで取り組もうとしている。【観察】 ◎提案理由を意識した発言をしている。 【学級会ノート・発言】 ◎根拠を明らかにして自分の考えを伝えている。【学級会ノート・発言】
	1/22（月） （朝学習） 【学級全員②】	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていること（条件）が共通理解できるように、必要に応じて助言する。	◎提案理由に合った意見を考え、学級会個人ノートに書くことができる。 【学級会ノート】
	1/22（月） （昼休み） 【計画委員会⑤】	・全員の学級会ノートに目を通して、意見を整理する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるよう助言する。 ・必要に応じて意見を短冊に記入する。	◎提案理由に沿って意見を整理し、計画することができる。【学級会ノート】
本時	1/26（金） （第5校時） 【学級全員④】	※本時の活動 参照		
事後	1/29（月）～ 【学級全員⑤】	・係で役割を分担して、準備を進める。 ・決まった活動を行う。 ・活動終了後、振り返りをする。	・協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。 ・自分の態度を振り返り、今後の学級生活づくりに生かせるようにするとともに、友達の良いところについても認められるよう助言する。	◎準備や話し合いに進んで取り組もうとしている。【観察】 ◎目的を考え、友達と協力し責任をもって準備したり参加したりしている。 【観察・振り返りカード】

3 本時について

(1) 本時のねらい

提案理由に沿って様々な意見を出し合い、認め合いながら、合意形成を図ることができる。

(2) 指導計画

第15回 学級会 活動計画 令和6年1月26日(金)第5校時		
議題	お世話になった学校に感謝の気持ちを伝えよう	
提案理由	卒業まで残り2ヶ月となった。6年間たくさんの人に支えられ、小学校生活を終えることができることへの感謝の気持ちを込めて、お世話になった学校や先生、職員の皆さんに何かできることはないかと考え、提案した。6年間の集大成として、みんなの気持ちを一つに、感謝の気持ちを伝えたい。	
話し合いのめあて	提案理由を意識して話し合いを進め、意見を深めよう。	
決まっていること	クラス全員で取り組むことができること。	
話し合いの順序	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 話し合いのめあての確認 6 決まっていることの確認	・提案理由を意識して話し合うことを確認する。また、困ったときは提案理由に戻ってから話し合いを進めるように伝える。	
7 話し合い(言)(尊)(表) 話し合うこと① 「どんな工夫をするか」 話し合うこと② 「担当分担」	・発言の機会を増やすために、自分の考えは事前に書いておくようにする。 ・具体的な取り組み方が考えながら話し合うように助言する。 ・自分達でできる内容であるかを考えるよう促す。 ・友達の意見のよさを認め、統合や付け足しをするなどの考えを出した児童を称賛する。	◎提案理由を意識した発言をすることができる。【観察】 ◎友達の考えをよく聞き、良さを尊重する発言をしたり、ハンドサインを出したりしている。【観察】
8 決まったことの発表 9 振り返り 10 先生の話 11 おわりの言葉	・話し合いの在り方について自己評価するだけでなく、友達のよかった点などについても相互評価できるようにする。 ・終末の助言では、計画委員へのねぎらい、合意形成したことへの価値付けや個人への称賛、今後の見通しや実践に向けての意欲付け等について簡潔に述べる。	

(3) 板書計画

<p>決まったこと</p>	<p>話し合うこと②「役割分担」</p>	<p>まとめる</p> <p>比べる</p> <p>出し合う</p>	<p>話し合うこと①「どんな工夫をするか」</p> <p>提案理由を意識して話し合いを進め、意見を深めよう。</p>	<p>話し合いのめあて</p> <p>クラス全員で取り組むことができること。</p>	<p>決まっていること</p>	<p>議題</p> <p>提案理由</p> <p>お世話になった学校に感謝の気持ちを伝えよう</p> <p>卒業まで残り2ヶ月となった。6年間たくさんの人に支えられ、小学校生活を終えることができることへの感謝の気持ちを込めて、お世話になった学校や先生、職員の皆さんに何かできることはないかと考え、提案した。6年間の集大成として、みんなの気持ちを一つに、感謝の気持ちを伝えたい。</p>
---------------	----------------------	------------------------------------	--	--	-----------------	--

